



2019・2・11 第 330 号
101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303
TEL 03-3221-5075
FAX 03-3221-5076

地方選、参院選も展望しつつ 3000 万署名を

「大綱」で「専守防衛」を転換

安倍政権が昨年 12 月に発表した「防衛計画の大綱」の重要なポイントの 1 つは「専守防衛」の内容を実質的に転換したことです。第 3 章「わが国の防衛の基本方針」の冒頭では、たてまは「日本国憲法の下、専守防衛に徹し、他国に脅威を与えるような軍事大国にならないとの基本に徹し」としながら、その具体的内容については「我が国に侵害を加えることは容易ならざることであることを相手に認識させ、脅威におよぶことを抑止する。さらに、万が一、我が国に脅威が及ぶ場合には、確実に脅威に対処し、かつ被害を最小化する」と敵基地攻撃能力をもって抑止力とする内容となっています。(詳細は別項ブックレット)

安倍政権は、戦争法でめざした「アメリカとともに世界のどこでも戦争する国」にむけた動きをすすめており、一方で 9 条改憲をめざすとともに、その内容の既成事実化を併行して進めようとしているのです。

目標達成へ返信葉書添付し配布

【岩手県／市民アクション岩手】 9 条改憲発議を今年こそ断念させ、安倍政権を

< 近日発売ブックレット >

新防衛計画大綱と憲法第 9 条

ごあいさつ 小森 陽一

「防衛計画大綱」改定の現実とは

大内 要三

安倍 9 条改憲発議を阻止する たたかい

高田 健

ブックレット発行のあとがき

小沢 隆一

< 資料 > 「防衛計画大綱」(抜粋)

* B5 版 64 ページ

* 定価 400 円 (10 部以上割引あり 円別)

お申し込みは九条の会事務局へ

早期退陣に追い込もうと安倍 9 条改憲 No. !
全国市民アクション岩手の会は 3000 万人署名欄 (5 名連記) のはがきが付いたカラーチラシを、7 万枚作製しました。

チラシを手にした人が、はがきを切り取って投函 (切手不要) すれば、署名が岩手の会へ届く仕組みです。

チラシの表面では、憲法を守らないとい

けないのは「行政府や国会議員など」（憲法 99 条）と解説。裏面では、安倍首相が憲法 9 条に自衛隊を書き込む目的は▽自衛隊を武力行使できる軍隊にする▽9 条の内容を否定する▽軍事費を拡大し、国民の自由や人権を制限する——ためと強調しています。

岩手の会は 3000 万人署名を県内 30 万の目標で取り組み、1 月までに 16 万 6000 人分を集約。目標達成に向け、3 月 2 日には北上市でチラシの全戸配布（2 万枚）を初めて行います。130 の構成団体域内での大量活用も呼びかけます。

幹事団体を務める県生協連の吉田敏恵専務理事は「東北地方の 9 条の会のチラシ参考に、岩手でも作った。9 条改憲をめぐる情報を広く伝えて、県内各地から署名を集めていく」と話しています。

安倍退陣への展望も明らかにし

【宮城県／九条の会連絡会】 県内九条の会連絡会の主催で、安倍改憲を阻止する 2019 年の運動を展望した学習講演会を 1 月 26 日開き、一橋大学名誉教授で九条の会事務局の渡辺治氏が講演、参加した 140 人が聞き入りました。

渡辺氏は、メディアで流れる「安倍改憲はもうない」との声に、「安倍首相は地方の体制づくりを指示し、あきらめていない」と強調。今国会中の発議など、可能性を具体的に指摘。「今国会で改憲案の発議をさせず、参院選で 3 分の 2 を阻止し、安倍政権の息の根を止めよう」と呼びかけました。

そのうえで 3000 万人署名を強調、野党を励まし与党を動揺させる力となると力説。「安倍改憲を阻止することが、憲法が生き

る日本への第一歩になる」と訴えました。

「署名を訴えると、戦後平和を守ったのは安保条約だと言われた」との会場からの質問に渡辺氏は、「アメリカと軍事同盟を結んだ東南アジアの国々はベトナム戦争に巻き込まれている。戦争していないのは 9 条がある日本だけだ」と答えました。

高校生らが強い関心示す

【広島県／総かがり行動実行委員会】

戦争をさせない・9 条壊すな！ヒロシマ総かがり行動実行委員会は 3 日、広島市の繁華街で、3000 万人署名をよびかけました。冷たい雨のなか、約 30 人が参加しました。

男子中学生は「平和がいいに決まっています。戦争はやってはいけなくて自分も周りの人に言い続けていきたい」と話しました。女子中学生の 2 人連れは「戦争しないための署名ならぜひ書きます。戦争で亡くなった人や残された人の思いを踏みにじることはしたくない」。核兵器禁止条約に背を向ける日本政府の対応については「私たちの声に耳を傾けてほしい」と語りました。

戦争への動員は銃後も同じ

【長崎市／城山九条の会】 城山憲法九条の会は 2 日、フリージャーナリストの関口達夫さん[68]=元 NBC 長崎放送記者を迎え、「憲法 9 条改正の行きつく先は戦争」と題した講演会を城山教会で開きました。

講演会では長崎放送が制作したドキュメンタリー「銃後の村」を紹介。作品では、戦時中の長崎県北有馬村（現在の南島原市北有馬町）で出征兵士を見送り、銃後を守る女性たちの様子や元兵士の生々しい証言

などが紹介されています。関口氏は「戦争で兵士だけではなく、家族、国民も根こそぎ戦争に動員された。自民党が憲法改正案で目指しているのはまさにこの社会だ」と強調しました。

関口氏は憲法「改正」について一人でも多くの人に知らせていくこと、野党共闘をすすめて参院選で改憲勢力の議席を大幅に減らすことが大事だと力を込めました。

講演を聞いた被爆者の城壺美彌子（じょうだい・みやこ）さん（79）は、「若い人たちに投票にいてほしい。そのためにも憲法が変わればどうなるのかを伝えていかなければ」と話しました。

地域に根ざした活動を継続的に

【札幌市／市民と平和をめざす北区・東区の会】 安倍9条反対3000万人署名を広げようと、札幌市の市民と平和をめざす北区・東区の会は25日、地下鉄北24条駅前で宣伝しました。

毎月、両区でそれぞれ宣伝している同会。風雪が厳しいなか、会のメンバー18人が新調したスカイブルーの「会」ののぼりや横断幕を掲げ、署名を呼びかけました。

「9条は守らなければだめ」と署名する男性や、「日本は平和のために力を尽くすべきで戦争するなんてとんでもない」と買い物袋を持った女侠が署名しました。

「憲法を持つ日本こそ、武力に頼らない平和外交の先頭に立つべきです」と語るのは、川添雅彦世話人。「9条改憲と『戦争する国』づくりを急ぐ安倍自公政権を退陣に追い込みましょう。9条改憲ノーの声を広げ、憲法を生かしたまともな政治にするた

め、署名を」と呼びかけました。

初めてマイクを握った同じ世話人の内田可奈子さんは「安倍政権は、私たちの生活が大変な時に消費税を10%に増税しようとしている一方で、米国から多額の武器を買おうとしています」と批判。「戦争につながる動きに歯止めをかけましょう、平和の願いを署名に託してください」と訴えました。

地道に学習会を重ねて47回目

【仙台市泉区／憲法九条を守る加茂の会】

憲法九条を守る加茂の会は27日、仙台市で草葉裕之弁護士をむかえて47回目の学習会を開き、30人が参加しました。

草場氏は「立憲政治を取り戻し、安倍『壊』憲を止めるために」をテーマに講演。安倍政権が国会審議を形骸化し独裁政治を強めている状況や憲法9条改定案を提出する危険が近づいていると解説しました。9条改定案を提出させないためには、野党共闘と3000万人署名を成功させることが大切だと強調しました。

会は、3000万人署名を4500人分集約したことなどを報告しました。

寒風のなかで年頭から駅頭宣伝

【横浜市青葉区／青葉台地域九条の会】

○＜定例駅宣＞ 会としての今年初めての活動はまず1月9日(水)の午後2時からの青葉台駅宣となった。参加者は8名で、9条改憲反対署名は42筆になった。累計署名は2,768筆で、目標までの残りは232筆です。

その後25日に生協前での特別行動を行い、22筆(辺野古10筆)、都合残り210筆。

○＜安倍改憲NO！青葉区連絡会＞ 更に

青葉区連絡会の1月3日、恒例のたまプラーザ駅前での宣伝、6日には北部原水協の駅宣にも参加した。冬場の寒い時期やインフルの流行っている時期にも重なり、高齢者の多い9条の会としては、体調と相談しながらの活動にならざるを得ないのは致し方ないところ。

○＜市民連合横浜の集会＞

1月19日、市民連合横浜が「沖縄に続け！市民と野党はひとつ！神奈川の選挙を盛り上げよう！」との集会を関内ホールで開催、参議院議員・森ゆうこ氏の短い講演「新潟・沖縄野党共闘のつくり方」、同じく真山参議院議員の「地方選・参議院選に勝利し神奈川から立憲政治を取り戻そう」の後、参加する野党「立憲民主党、日本共産党、自由党、社民党」の各代表がそれぞれの選挙闘争方針の説明や、候補者紹介をし、最後に立憲民主党・牧山ひろえ氏と日本共産党・あさか由香氏が参議院選挙立候補の決意表明をし、盛り上がった集会になった。これで神奈川県内すべての市民連合が結集し、牧山ひろえ・あさか由香の「牧あさ」連合を組んで参議院選を戦う方向が確認（「青葉台地域九条の会 ニュース」N0137）

新成人に9条の大切さ訴え、署名活動も

【東京小金井市／9条の会・こがねい】 1月14日、宮地楽器ホールで成人式が行われました。今年の新成人は1291人（去年は1286人）。

9条の会・こがねいでは、池末代表ら15名参加、戦争への道へ繋がる9条改憲ストップをマイクで呼びかけ、平和メッセージをティッシュに入れ、300個を手渡しました。

横断幕を掲げ、署名活動もしました。

自衛隊の方も自衛官募集のティッシュを配布していて、去年は採用上限年齢27歳未満でしたが今年は33歳未満に引き上げになったとのこと。理由は応募数の減少だそうです。安倍政権の狙いと実態との乖離。9条改憲に継続的戦力としての若者確保のお墨付きを与えてしまうこと。自衛隊員の誇りなんて言う綺麗事にごまかされないで！武器は買えたが人の命は渡せない。

この日の笑顔が続くことをと強く思った一日でした。（前原町・渡辺「9条の会・こがねいニュース」No157）

総会をひらき会員の親睦も

【栃木県／九条の会栃木】 「九条の会栃木」は3日、宇都宮市で第14回総会を開きました。初めて参加したという女性が目立ち、総会に先立つ、「コスタリカの奇跡」上映会で、会場は満席に埋まりました。

同九条の会は、「戦争法の廃止と立憲主義の回復を求める栃木県民ネット」を構成する52団体のひとつ。7月の参院選について、総会は「市民と野党の共闘の実現とその維持発展に力を尽くし、参院選での勝利に貢献する」との活動方針を決めました。

総会後には、会場内を「カフェ店」に改装。参加者はテーブルごとに分かれて、「おもしろ憲法クイズ」などに取り組み、楽しい時間を過ごしました。

チラシを見て参加した鹿沼市の男性（38）は「コスタリカの歴史にふれ、軍事費がいかに無駄なものか理解できた。憲法9条を守り、軍事費をなくす必要性を痛感した」と話しました